

進取の氣

自分から進んでものごとを行う心



本年もよろしくお願ひ申し上げます



R4.12.9
保健授業「うまれる」

新たな年の始まりです。冬休み中、大きな事故等がなく、皆さんの元気な顔が見られて大変よかったですと思います。しかし、新型コロナウイルス感染症については、まだまだ拡大がみられます。3年生は受験期となりますので、一層注意が必要です。当校では、感染状況を踏まえ、**当面の間、給食時の黙食を続けます**のでご了承ください。

休み明けの全校朝会では、「自己開示を恥ずかしく思う心理」や「人と比べてしまう心理」についてお話ししました。

自分に自信のない人や、他者からの評価だけを目安にする人は、周囲の状況によって自分の考えや目標がゆらぎ、苦しいと思います。人が何と言おうと、自分の中で「これが大切だ」ということや目標にしたいことをしっかり決めていれば、ゆらぐことはありません。

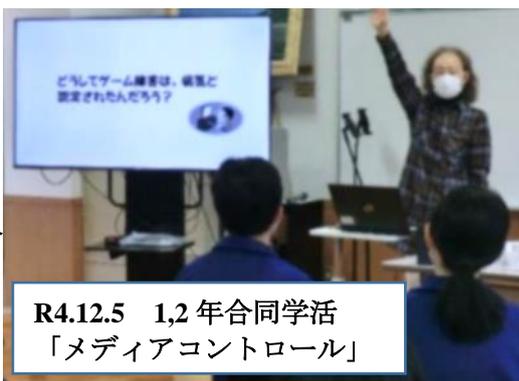
外見やブランドより、大切なものがあるはずです。あなたにとって、人生を幸せに生きるために、本当に大切なものは何ですか？家族や友人と一緒に考えてみてください。

感じ方や価値観を決めるのは自分の心

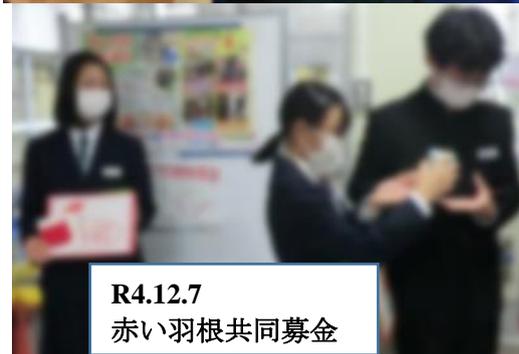
外見、成績、高校名、お金…???

あなたにとって本当の幸せとは何ですか？

自分にとって本当に価値のあるもの、本当に大切なものは何か、人と比べずに考えてみましょう



R4.12.5 1,2年合同学活
「メディアコントロール」



R4.12.7
赤い羽根共同募金

令和5年度 生徒会事務局員、専門委員長決まる

新生徒会事務局員、各専門委員長が12月に立候補、面接を経て決定しました。新生徒会三役と共に、来年度の中野小屋中学校生徒会をリードするにふさわしいメンバーです。みんなで協力していきましょう。



令和5年度生徒会事務局員・専門委員長

写真左から

本部事務局員	1年	小出 希美 さん
本部事務局員	1年	山岸 宗大 さん
学級委員長	2年	加藤 衣麻里 さん
激励・生活委員長	2年	近藤 春太 さん
保健・給食委員長	2年	佐藤 宏城 さん
図書・広報委員長	2年	山田 陽麻里 さん

新潟県中学生人権作文コンテスト 優秀賞 3年 丸山 優衣 さん

新潟県中学生人権作文コンテスト

「新潟県中学生人権作文コンテスト 優秀賞」受賞

「人権の大切さ」

丸山 優衣

私たちには人権がある。その人権は人間が生まれながらにもっていて、一人一人がかけがえのない個人として尊重され、平等に扱われ、自分の意思で自由に生きることができなければならない。

現在、世界中でコロナウイルスが流行している。その影響により、誤解や偏見に基づく差別というものがある。具体的には、親の職場で感染者が出たという理由だけで子どもの保育園等の利用を拒否されたり、発症から十日間が経過し回復しているのに出社を拒否されたりして、職場復帰できない人がたくさんいるのだ。

さらに、「ある施設でクラスターが発生している」などの根拠のない噂がSNS等で事実のように拡散されるなどということもある。さて、考えてみよう。それがもし、飲食店や接客業のお店だったらどうだろう。ただでさえ不景気で困っている人がいるのに、クラスターだという噂が世間に広まるのは、恐ろしいことだと思う。なぜなら、コロナウイルスを恐れてお客さんが入らないのはもちろんのこと、そのお店で働いている従業員の皆さんの生活が壊れてしまうことも考えられるからだ。

現在、世界に差別・偏見などがある以上、個人の尊重は守られていないといえる。そのことで悩んでいる人もいることだろう。そんな今の時代に、相談窓口が多数ある。相談方法も、電話やメールなど、様々だ。人々の人権を守るために、このようなサイトがあるのだ。

そのような状況で、私たちにできることは何か、考えてみた。いちばん大切なことは、一人一人の正しい理解と思いやりのある行動だと思う。誰でも感染することはあるから、そのことを忘れて生活することはもちろんのこと、仮に自分が感染したとき、周りの人にどう思ってもらいたいか、あるいはどう接してほしいかなどを考えて行動すべきだと思う。差別を生まない社会が命を救うことに繋がると思うから、一人一人が学び合い高め合えるよう、感染症対策を徹底していきたい。

私の母は、看護師をしている。だからわかることがある。母は、感染症のリスクがあるのにもかかわらず、患者さん一人一人と向き合っている。もちろんそれは、母だけではなく、すべての医療関係の方たちにあてはまることだ。ある日、母に質問をした。「怖くないの?」と。すると、母は「怖くても誰かが動かないといけないし、自分にできることをしているんだ。」と言った。自分はまだ働いたことがないから、母の気持ちが百パーセントわかるというわけではないが、誰かが誰かのために働くという思いは、なくてはならないと感じた。

日本の政治は、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の三つの基本原理で成り立っている。国民はその原理をもとに生活している。そこに差別が加わってしまったら、基本的人権の尊重、つまり個人の尊重という面が欠けてしまう。差別をなくすことの第一歩として、自分が差別しないのはもちろんのこと、周りに差別している人がいたら「あなたはそれをされてうれいのか?」と問いかけてあげたい。そうすることで、今よりももっと楽しく輝かしい生活が送れると私は思う。